

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡してください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

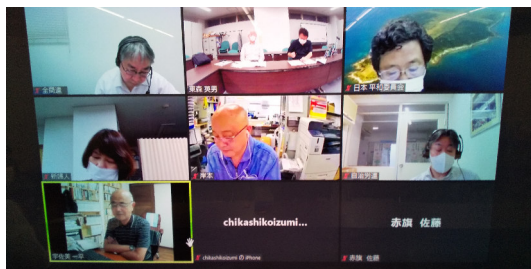
No.21-048
2021年 9月 9日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央

オンライン常任幹事会 (9/8) 総選挙で野党連合政権の実現を 自公政権倒し安保廃棄勢力の前進を



安保破棄中央実行委員会は8日、常任幹事会を開き、当面のとりくみを確認しました。9団体12名が参加。

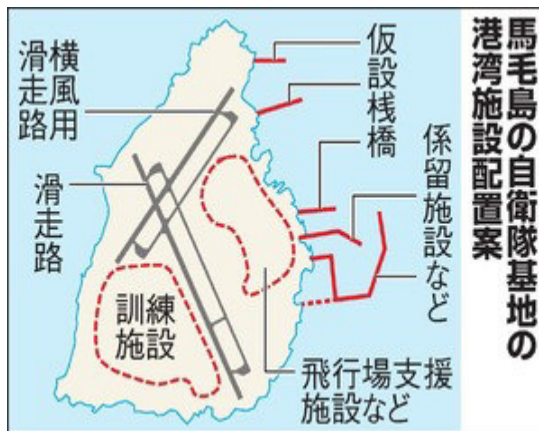
報告した東森英男事務局長は、菅首相が政権を投げ出したことに、「コロナ対策最優先」としながら政権延命だけを優先し国民の命と健康を軽んじてきたと批判。臨時国会を開き国民を守る施策を論じるべきと指摘。市民連合と野党4党が共通政策の提言に合意したことで、「総選挙で自公政権を打倒するたたかいに立ち上がろう」と訴えました。野党連合政権実現する中で、安保条約廃棄を掲げる

勢力の前進を勝ち取ることが重要と強調しました。

この間のとりくみとして、NATO 関係国艦船の日本寄港・共同演習の中止を求める防衛省交渉や土地利用規制法廃止を求める集会、総選挙への学習集会などのとりくみを報告。

当面のとりくみでは辺野古基地建設反対、オスプレイ配備撤回などを求める署名運動、「土地利用規制法」発動を許さないとりくみ、来年1月の名護市長選や総選挙で野党共闘勝利をめざすたたかいなどを提起しました。

討論では、英空母クイーンエリザベス横須賀寄港に要請・抗議(安保神奈川)、横田基地のオスプレイ配備反対の運動(安保東京)、全国のオスプレイ飛行・訓練状況(平和委員会)、予算要求での署名活動(新婦人)、デジタル化へのとりくみ(全商連)、確定闘争と総選挙への議論(自治労連)、沖縄連帯行動での学習会(民医連)、総選挙への構え(全労連)などのとりくみが報告されました。



防衛省は鹿児島県西之表市の馬毛島への米空母艦載機離着陸訓練(FCLEP) 移転や自衛隊基地建設計画をめぐって、島周辺での海上ボーリング調査を9月4日に再開しました。来年5月末までに25か所を調査します。同省は昨年12月、日米の大型艦船が停泊できる大規模な係留施設や仮設棧橋の整備に向けてのボーリング調査を開始しました。今年5月末までに、37か所を調査する予定でしたが、12か所にとどまっています。地元漁師からは、港湾施設の予定地が貝の「トコブシ」などの好漁場でもあり、調査中止を求めています。地元住民7団体が昨年12月と今年1月、2度提出していた公開質問状の回答を九州防衛局が8月31日拒否していたことが分かりました。安保破棄中央実行委員会は、馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会が作成した馬毛島問題リーフレットを普及し、馬毛島の軍事基地化とFCLEPを許さないため、全国からの運動を強化していきます。

馬毛島

海上での地盤調査再開へ
軍事基地化とFCLEPを許さない
リーフレットの普及、反対運動の強化

「土地利用規制法」廃止へ リーフレット活用を

「土地利用規制法」廃止への運動を広げていくためのリーフレット(A5 8頁 A3 4つ折り 1部10円)を作成しました。各団体での活用をお願いします。9月16日以降、随時発送します。申し込みは、安保破棄中央実行委員会まで。申し込み用紙はホームページに掲載しています。ご覧ください。

馬毛島 リーフレットの活用を

馬毛島を軍事基地にさせないためのリーフレットは、安保破棄中央実行委員会など中央団体からも要望して作成されたものです。リーフレットを作成した市民・団体連絡会は、9月24日までに第1次集約して10月初めに発送し、総選挙に向けて全国普及できるよう、とりくみをすすめています。詳細は安保中央9月8日付メール「馬毛島 リーフレット活用依頼文書等」をご覧ください。

